

00	09	03	002	永年保存	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議長	副議長	事務局長	次長	主査	主査	担当	文書取扱主任	

第 29 回 市立病院建替計画等調査特別委員会 会議録

開催年月日		平成22年11月25日(木曜日)		開会：10時01分		閉会：10時20分	
開催場所		第一委員会室					
出席委員		井上、渡辺、酒井、関藤、山口、荒木、堀、田村				事務局	中嶋事務局長
		議長、委員外議員～窪之内					田湯次長
欠席委員		山木					寺嶋主査
説明員		別紙のとおり					
議件		別紙のとおり					
議 事 の 概 要	1 調査事項について						
	次の事項について、所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。						
	(1) 条例改正について						
	(2) 平成22年度滝川市病院事業会計補正予算について						
	2 その他について						
	なし。						
	3 次回委員会の日程について						
	12月22日（水）午前10時から委員会を開催し、午前11時から新病院の視察見学会を行うことを確認した。						
上記記載のとおり相違ない。市立病院建替計画等調査特別委員長 井 上 正 雄 ㊞							

平成22年11月22日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席について

平成22年11月12日付け滝議第128号で通知のありました市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市立病院事務部長

東 照 明

市立病院事務部次長

鈴 木 靖 夫

(総務部総務課総務グループ)

第 29 回 市立病院建替計画等調査特別委員会

H22. 11. 25(木) 10:00
第 一 委 員 会 室

○開 会

○委員長挨拶(委員動静)

1. 調査事項について

- | | |
|-----------------------------|-------|
| (1) 条例改正について | (資 料) |
| (2) 平成22年度滝川市病院事業会計補正予算について | (資 料) |

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○閉 会

第 29 回 市立病院建替計画等調査特別委員会会議録

H22. 11. 25 (木) 10 : 00

第一委員会室

開 会 10 : 01

委員動静報告

委員長 山木副委員長欠席。議長出席。委員外議員～窪之内。プレス空知の傍聴を許可する。

委員長 最初に鈴木部次長から報告がある。
鈴木部次長 移転業者についてプロポーザルということで実施してきたが、日本通運株式会社に決定し、11月1日に契約したことを報告させていただく。

委員長 この件について質疑はあるか。(なし) それでは引き続き調査事項に入る。

1 調査事項について

委員長 (1) について説明願う。

(1) 条例改正について

鈴木部次長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。

田 村 ① 私は個室が3室あるということしか知らなかったが、現行のA、B、C、Dは何室ずつあるのか。

② 現行のAにはテレビ、冷蔵庫と書いてあるが、改正後のAには電話はついていないのか。私が現行のAを借りたのは電話があるからで、仕事ができるということでその部屋に入った。特別室で携帯電話が使えるならよいが、携帯電話が使えるのかどうか確認する。

③ A、B、Cのほかには予備室があるという話を聞いていたが、その点についてはいかがか。

鈴木部次長 ① 現行の特別室についてだが、Aは3部屋である。また、BとCを合わせて9部屋、Dの21部屋を特別使用料を取れる部屋として定められている。

② 電話の関係についてはただいま協議している。携帯電話については院内に各ブースを設けてそこでかけられるような形になる。ただ部屋で携帯電話を自由に使えるようにするか、あるいは電話を設置して使っていただくのかという部分については確定していない。それが決まればAの部屋もそのどちらかの選択になると思っている。

③ 個室そのものは一般病床に70部屋ある。差額を取る部屋として26部屋を設定していることから、個室対応ということで考えれば十分対応できる部屋数があると思っている。ここは必ずしも差額だけで待っている部屋ではなく、医師の指示もしくは患者の状況で差額を取らないで入れることもあり得ると想定している。

田 村 なぜ電話が必要かという、特別室に入って仕事をしたいということがあるからである。内臓的には悪いが仕事はできるといった場合もあるので、そういうときに特別室は非常に重要である。ほかの病院においても、特別室には電話がついていたし無料だった。ここで一番大事なものは、テレビ、冷蔵庫よりも電話であることを強調しておきたい。ぜひ携帯電話を特別室で使えるようにしていただきたいがいかがか。

鈴木部次長 今の意見を踏まえて検討していきたい。

委員長 他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員 ① 今の病床の稼働率から考えると、改正後にベッド数が減ることで退院を強要するといったことはあり得ない状況と判断してよいか伺う。

② 7対1を続けてきていることで、来年の病床数との関係も含めて新規採用は決定しているのか。こういうベッド数でいくので現状の7対1を確保している見通しがあると確認してよいか伺う。

鈴木部次長

① 新病院の病床数については、当時の基本計画、もしくは実施設計の中で今後の滝川市、中空知圏域の人口の減や市民が入院したり病院にかかる率も勘案しながら検討した結果、一般病床が270という数字で進んできた経過がある。現行の病床稼働率は70を超えるかどうかというのがラインと思っており、現状もその率を推移しているようなところなので、30床減ることで患者を追い出すとか、はみ出るといった内容の数字ではないと思っており、270床で十分対応できると考えている。

② 7対1の関係については、何とか継続しようということで看護婦の採用について努力しているところだが、今年度高等看護学院の卒業生の面接、採用試験は既に終わっており、12名の採用内定が決まっている。引き続き看護師確保に努めながら、7対1継続に向けて努力していきたい。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(1)については報告済みとする。(2)について説明願う。

(2)平成22年度滝川市病院事業会計補正予算について

鈴木部次長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。

田村

当初の予想と比較してふえている部分はあるのか伺う。

鈴木部次長

③の3条予算については、単年度の予算で見ている5,040万3,000円から1,938万5,000円ふえているが、継続費にかかる建設の分に関しては予算内でおさまっている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(2)については報告済みとする。

2 その他について

委員長

委員から何かあるか。(なし)事務局からあるか。(なし)

3 次回委員会の日程について

委員長

この関係について改めて報告していただきたい。

鈴木部次長

前回の委員会でも報告させていただいたが、建物が11月いっぱいまで完成し、その後12月20日過ぎくらいまで検定等が行われるので、それ以降に委員の皆さんに病院を見ていただこうと考えている。12月22日に委員会を開かせていただき、その後病院を1時間程度見学していただくことで考えているので、よろしく願います。

委員長

ただいま次長から報告したとおりだが、全議員に案内して見ていただこうと考えている。以上をもって第29回市立病院建替計画等調査特別委員会を閉会する。

閉 会 10:20